

12インチスマートルームミラー搭載  
前後撮影型ドライブレコーダー



# TXM-12R 取扱説明書 保証書



## はじめに

商品構成一覧表	1
各部の名称と動作について	2
設定メニューについて	4
電源をオン/オフについて	7
リアカメラの取り付け	8
機器取り付けに際してのご注意	13
本体の取り付け	15
リアカメラの配線接続	14
microSDカードについて	16

## 動作モード

2つの機能モード	20
スマートルームミラーモード	21
常時録画記録	22
電源オフ時の駐車監視モード	25
本体での再生について	26

## その他

PC用GPS再生ソフトについて	28
トラブルシューティング	32
仕様	35
安全上のご注意	36
使用上のご注意	39
保証とアフターサービス	40
保証書	41

●本書で使用しているイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

●実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

## はじめに

### 【必ずお読みください】

弊社ではご購入から1年間の保証期間を設けております。

ご購入後の故障、不具合に関しましては誠意をもって対応をさせていただきますが、精密機器である製品上、不具合などの検証を行うことが必須となり、**機器を一旦お預かりさせて戴く事になります。**

**その際に、代替え機、交換品の先出し等のご要望には対応が出来ませんのでご了承ください。**

お手元にドライブレコーダーが無い事でのご心配は重々理解をしておりますが、保障内容としての対応は機器の預かり、検証ののちに修理、もしくは交換、という流れになります事、ご理解とご了承をいただけます様お願い申し上げます。

### 【ご注意ください】

・付属しているSDカードは【高耐久型の未フォーマットSDカード】ですのでこのまま本体に挿しても認識はしません。

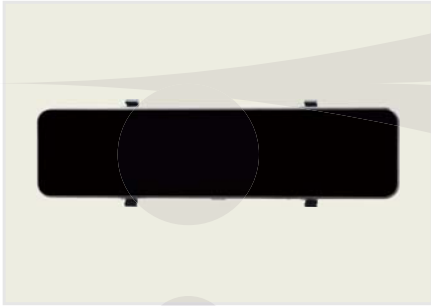
必ず本体で **フォーマット作業** を行ってからご使用をお願い致します。  
(詳細はP18に記載しています)

※弊社HP([b-effect.jpn.com](http://b-effect.jpn.com))にて本機のファームウェアの更新があった場合、HP内に表記されることがあります。

# 商品構成一覧表

設置および接続する前に、必ず以下の同梱物を確認してください。

■ 本体



■ リアカメラ



■ シガーDCアダプター (2.5v)



■ リアカメラ接続ケーブル(10m)



■ リアカメラ車外用取り付けステー



■ リアカメラ車内/車外兼用取付ステー



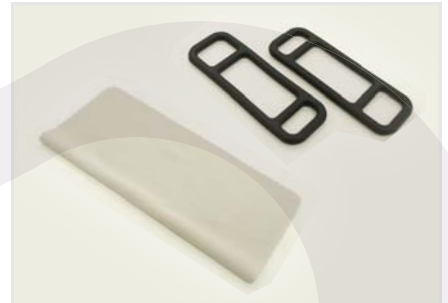
■ GPSユニット



■ micro SDカード(未フォーマット)



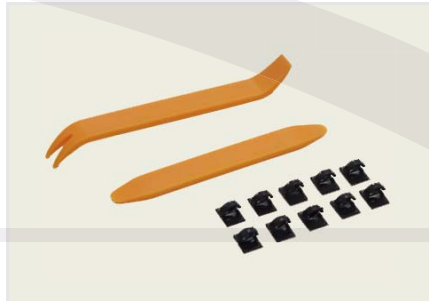
■ 固定バンド・クリーナー



■ 反射防止シール



■ ヘラ・クリップ



■ 取扱説明書／保証書

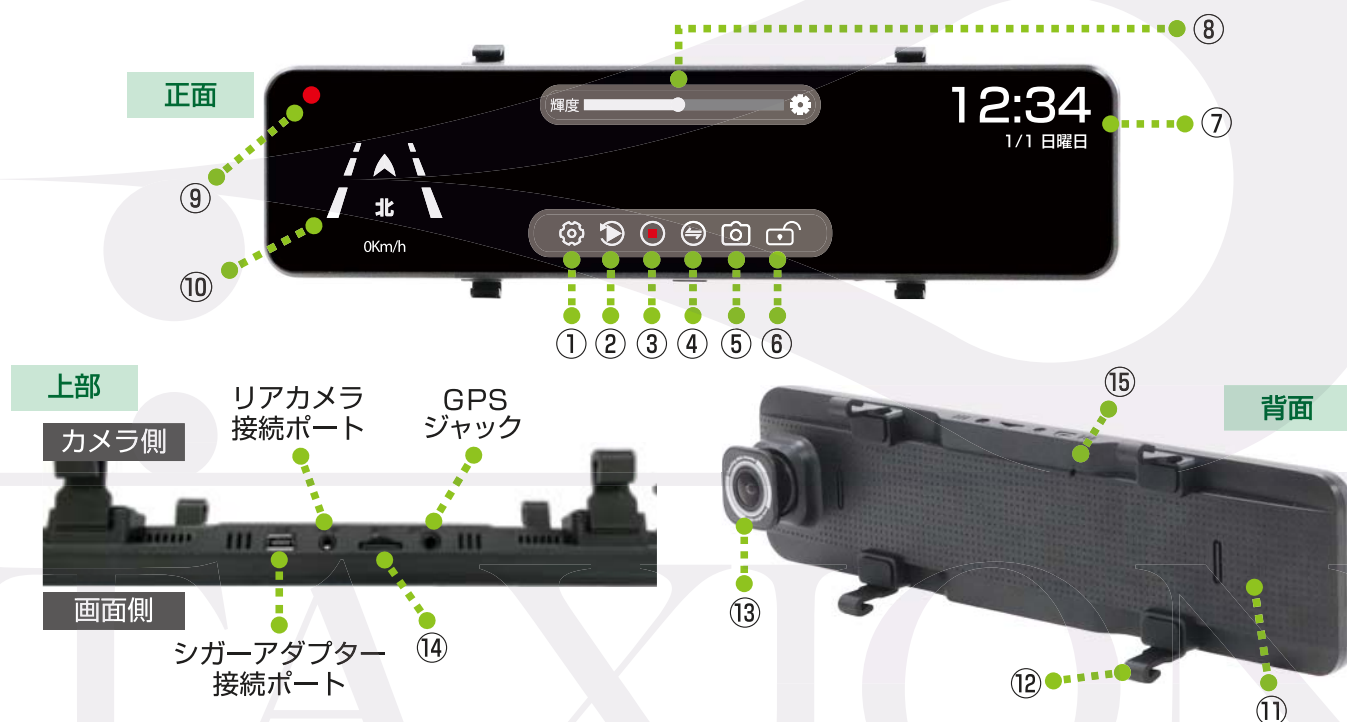


## ■ 日付と時刻について

- ・ 本機の日付と時刻は「GPS日時同期設定」がオンの場合、GPS電波を受信すると自動で設定されます。
  - ・ 本機の日付と時刻は動画ファイルの表示画面に記録されます。
- ※GPS日時同期設定については「設定メニュー画面」ページをご参照ください。  
※GPSを受信できない環境に長時間保管された場合、時刻にずれが生じることがあります。

# 各部の名称と動作について (1)

本機の各部の名称と動作については以下の通りです。



※本機を約10秒間操作しない場合、操作ボタンが消えます。  
画面を再びタッチすると、操作ボタンを表示します。

## ① 設定ボタン [⚙️]

録画停止状態で、タッチすると設定メニューを表示します。

※設定メニューで15秒間操作しない場合、自動的に元のモードに戻ります。(自動録画設定オン設定の場合)

注：録画中は設定ボタンが反応しない為、必ず録画を停止してからの作業をお願いします。  
(操作をしない場合は安全設定の為、30秒で強制的にリア画面に戻ります。)

## ② 再生ボタン [▶]

録画停止状態でタッチすると、再生モードに移ります。

## ③ 停止ボタン [■]

録画中にタッチすると、録画を停止します。録画停止中にタッチすると、録画を開始します。

## ④ フロント／リア画面の切り替えボタン [⇄]

フロント画面→リア画面→2画面分割の順で表示画面を切り替えます。

※リア画面に切り替えて、スマートルームミラーとして使います。

注：フロント画面を表示したままでの走行は危険ですので絶対にしないでください。

## ⑤ 写真撮影ボタン [📷]

タッチすると、停止画像を撮影します

※フロントとリアの画面を同時にキャプチャーします。

## ⑥ ロックボタン [🔒]

タッチすると、イベント録画を開始します。(上書きファイルから外れます)

## 各部の名称と動作について (2)

### ⑦ 日時表示

設定メニューで「オン」「オフ」の設定が切り替えられます。

### ⑧ 輝度調整設定アイコン

設定メニューで輝度調整を「自動」に設定すると、周囲の明るさに応じて自動で画面の明るさを調整します。

「手動」に設定時、スクリーンを左右にフリック(スワイプ)すると、明るさを調整できます。

※お買い上げ時は、スクリーンの輝度調整は「手動」に設定されています。

### ⑨ 録画状態表示アイコン

常時録画中は液晶左上に[●]赤色点滅し、イベント録画中は[●]黄色点滅します。

※録画が停止している場合には、アイコンを表示しません。

### ⑩ GPS受信状況表示アイコン

GPSユニットがきちんと差し込まれている状態でのみ設定内に「GPS 情報」が表示されます。

下の「GPS」の文字が赤いときは受信前、青い文字は受信中です。

※表示のオン/オフを設定で行うことはできません。

### ⑪ スピーカー

### ⑫ 取付ゴムバンド

車両についているルームミラーの上から本体をかぶせて付属のバンドで固定します。

### ⑬ 高感度6枚レンズ搭載フロントカメラ

※お買い上げ時は、保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がして下さい。

### ⑭ microSDカード挿入口

### ⑮ リセットスイッチ

本体が正しく動作しなくなった時に押してください。

※リセットすると、強制的に再起動します。

## ■ 日付と時刻について


本機の日付と時刻はGPS自動設定時間が「オン」に設定時にGPSを受信すると、一定時間後、自動設定します。本機の日付と時刻は録画ファイルに記録します。

●GPSが受信できない環境に長時間保管された場合、時刻ずれが生じることがあります。

●お買い上げ時はGPS自動設定時間が「オン」に設定されています。

●お買い上げ時はタイムゾーンが「+9」に設定されています。

# 設定メニューについて (1)

録画停止状態で「」ボタンをタッチすると、設定メニュー画面が表示されます。



## 設定メニューについて (2)

(▲)は工場出荷時の設定値です。

項目	設定内容と説明	
録画解像度	1080P (▲)	録画ファイルの解像度を「1920×1080」に設定します。
	720P	録画ファイルの解像度を「1280×720」に設定します。
自動上書き	1分 (▲)	常時録画(ループ録画)で記録される1ファイル毎の録画時間を設定します。
	2分	
	3分	
自動録音	オン、オフ	動画のほかに音声も録音されます。
自動録画	オン(▲): オフ	・オンの状態では設定画面でタッチせずに30秒立つと自動的に録画モードに戻ります。 オフにした場合は設定画面から録画モードには戻りません。
緊急時上書き	オン: オフ(▲)	緊急時でも上書き動作をする設定についてです。基本的にはデフォルトのオフに設定してください。
タッチ音	オフ	操作音のオン/オフを設定します。
	オン (▲)	
リアカメラ反転	オン(▲): オフ	リアカメラの左右反転(鏡面設定となります) ※上下反転にはなりません。
リアカメラ上下反転	オン: オフ(▲)	リアカメラの上下反転設定(リアカメラの設置に合わせて設定してください。)
日付表示	GPS時間校正	GPSの日時情報を取得し、日付/時間を自動的に設定します。 オンに設定した場合、日付/時間設定を手動で行うことはできません。 ※工場出荷時の設定値に戻した場合でも、日付/時間はリセットされません。
言語	日本語 (▲)	表示言語を選択します。 ※言語を日本語以外に設定した場合、音声ガイダンスは流れません。
	English	
	Español	
	Русский	
	その他5ヶ国語	
電源周波数	50MH:60MH	走行エリアの周波数に合わせます。
スクリーンセーバー	オフ、1分、3分	起動から時間設定で電源が落ちます。ルームミラー画像と兼用している為、通常時は オフ の設定にしてください。(画面をタッチすると戻ります。)
Gセンサー感度	オフ	Gセンサー(衝撃検知)の感度を設定します。 低: 衝撃を検出しにくくなります。 中: 一般的な衝撃の感度です。 高: 衝撃を検出しやすくなります。
	低 (▲)	
	中	
	高	

## 設定メニューについて (3)

(▲)は工場出荷時の設定値です。

項目	設定内容と説明	
駐車監視モード	オフ(▲)	駐車監視モード時のGセンサー(衝撃検知)の感度を設定します。 低：衝撃を検出しにくくなります。 中：一般的な衝撃の感度です。 高：衝撃を検出しやすくなります。
	低	
	中	
	高	
ボリューム	－ : +	操作音の音量を調整します。
GPS受信情報	経度/緯度 スピード/ 方向/GPS ステータス	GPS受信感度など、GPS情報を表示します。
GPS表示切替	オン(▲)：オフ	液晶画面左側のGPS表示を手動で表示有り(緑)/無し(グレー)を設定出来ます。
GPSタイムゾーン	使用エリア調整	日本エリアでの使用設定である[+9]となっています。
時間表示形式	24時間制	オフ 時間表示を「12時間モード」で表示します。
		オン(▲) 時間表示を「24時間モード」で表示します。
自動明るさ調整	手動(▲)	液晶画面の明るさを設定します。手動に設定した場合、動画記録モードで画面を左右にフリックすることで調整が可能です。自動に設定した場合は、周囲の明るさに応じて自動で調整されます。
	自動	
工場出荷設定値	OK/ キャンセル	設定初期化の確認画面に入ります。「OK」をタッチすると、すべての設定を工場出荷設定値に設定します。「キャンセル」をタッチすると、前の画面に戻ります。
SDカード フォーマット	挿入されているSDカードの空き容量と全体容量情報を表示します。	
	フォーマット	「フォーマット」をタッチすると、SDカード初期化の確認画面に入ります。確認が完了すると、フォーマットを開始します。 ※重要なデータはフォーマットをする前にバックアップをとってください。
Ver情報	バージョン	本機のバージョンを表示します。

※設定メニュー画面表示中に約30秒間操作が行われない場合、設定メニュー画面が自動的にタイムアウトします。

TAXION



# 電源オン／オフについて

本機の電源はエンジン連動型になっていますが、本体下部のボタンで手動操作も可能です。



電源ボタン



## ■電源オン

### 【自動の場合】

シガーDCアダプターを車内に接続してから、エンジンをかけると自動的に、本体に電源が入り起動しオープニング画面が表示されます。

### 【手動の場合】

本体下部の電源ボタンを長押しすると本体の電源が入ります。

## ■電源オフ

### 【自動の場合】

エンジンを切る(ACCオフにする)と自動的に電源オフになります。

### 【手動の場合】

本体下部の電源ボタンを長押しすると本体の電源が落ちます。

### ⚠ 注意

#### 《エンジン連動》

エンジンを切る(AOCオフ)と自動的に電源オフになります。

#### 《エンジン連動ON 機能について》

本製品は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによって、また、充電不足もしくは長期間、本製品をご使用にならなかった場合は、通電をおこなって充電いただくようお願いいたします。

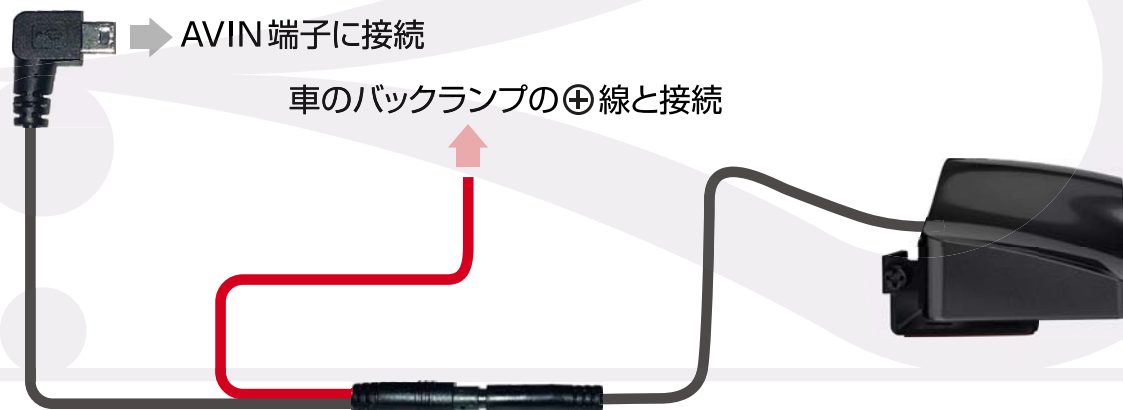
#### 《アイドリングストップ車での電源オフについて》

アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、また車両設定によってアイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がオフになる場合があります。

その場合車両ごとの設定でシガーソケットの給電が、アイドリングストップと連動しないように設定下さい。

# リアカメラの取り付け（1）

## 車両のバックランプと配線との接続（リバース連動）



※リバース連動（バック連動）でバックカメラとしてもご使用になる場合は、車のバックランプの⊕線に[赤：電源プラス線]を接続してください。

### ⚠ 注意

#### ①このリアカメラは本来は車外用に作られた防水機能を持つ高性能カメラです。

リアカメラは、取り付ける場所により使用するブラケットが異なります。

弊社では本来の機能を引き出すため、**車外取付け**を推奨いたしますが、取付工事に専門の取付け業者への依頼が通常となることでの作業が発生を致します。

昨今のニーズから『手軽に車内からでも取り付けたい』との要望から車内リアガラスへの装着が可能なアダプターを同梱いたしました。

このアダプターにより車内配線を簡素化する事が出来る事で、**装着が簡易となりますが本来の性能を出し切れない状態となる為**、その点をご留意いただきましてご使用をいただけます様、お願い致します。

#### ■リアカメラの室内設置における考慮される弊害

##### 〔1〕リアスモークによる録画画質の低下

※スモークなどによる物理上、車外設置時に比べて特に夜間、雨天においては著しく画質が落ちますのでご了承ください。

##### 〔2〕リアガラスの汚れ、雨天時の水滴などによる撮影状態の悪化

※リアガラスに付着した汚れ、水滴などの障害物によって画質の悪化、障害が考慮されます。車外設置に比べ、これらの弊害があることを十分ご理解いただきまして、設置時にご理解をいただけます様、お願い申し上げます。

## リアカメラの取り付け (2)

### ⚠ 注意

②フロント、リアケーブルなどの配線の設置前に必ず本体との動作を確認の上で設置作業を進めてください。

弊社製品には本体設置、リアカメラ、フロント、リアケーブルなどすべての商品(SDカードは消耗品となる為対象外)にはメーカーでの保証がついておりますので、万が一の不具合に関しては修理、交換での対応をさせていただいておりますが、機器不具合発生時対応に関して、**すでに設置にかかった工賃、交通費、その他費用の一切につきましては保証が出来かねます**のでご了承ください。

1 設置位置を決めたら、乾いた布でリアウインドウの設置位置を拭きます。

2 ブラケットから保護フィルムをはがして、ブラケットを設置位置に押し付けます。

※10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。※粘着テープの貼り直しは粘着力が低下しますのでお避けください。

3 画面の映像を確認しながら、リアカメラの角度を調整します。

#### 車内取り付けの場合

※リアガラスの内側に貼付けます

#### 車外取り付けの場合

#### 車外取り付けの場合(図1)

付属の両面テープでしっかり固定してください。

#### 車内取り付けの場合(図2)

⊕ドライバーでネジを外し車外用ステーを外し、車内用ステーと付け替えてください。

※カメラ、ブラケットの形状は参考画像の為、実際の形状とは異なりますのでご了承ください。

## リアカメラの取り付け (3)

### ⚠ 警告

- ブラケットにしっかりと固定されていない場合、リアカメラが運転中に落下したり損傷したりする可能性があります。
- スモークガラス等により車内からの映像が見えにくい場合は、リアカメラの車外への取り付けを検討ください。(弊社では車外への設置を推奨しております。)

### ⚠ 注意

- リアカメラの車外への取り付けは、必ず**専門の熟練した技術者**が行ってください。
- あらかじめカメラを仮接続し、リアカメラを取り付けたい場所に仮設置したのち(バンパー直下が見える位置が基準)、取り付け位置を決めてください。このときカメラが車両に当たらないことを確認してください。(貼り直しが出来ない為)
- カメラの取り付け向きは、図 1、2の向きで固定してください。上下を間違えると画像が逆さまになります。
- カメラがナンバープレートにかからないように取り付けてください。
- バックドアやトランクの**開閉時にコードが当たらない**ことを確認してください。(配線が切れてしまうことがあります。)
- 車内に取り付けの際は、リアガラスのアンテナ線に取り付け位置が被らないようにご注意ください。ラジオや地デジTVのノイズの原因になることがあります。  
※ 当店では地デジへの電波干渉への機器対応は行っておりますが、すべての車両、使用状況において保証をしているものではありません。  
※ また、本来の**ドライブレコーダー、電子ミラーとしての機能に直接影響がないとの判断**から、地デジTVへの電波干渉については**機器の不具合対応となりません**のでご了承ください。
- 取り付け後、24時間以内は取り付け部分などに水が当たらないようにしてください。
- 本製品の取り付け後、確実に取り付けられているか走行前に必ずご確認ください。

TAXION

## リアカメラの取り付け (4)

### リアカメラをAV端子に接続する

バックライトの12V電源(+)へ接続  
※24Vのバックライト電源へは接続しないでください。

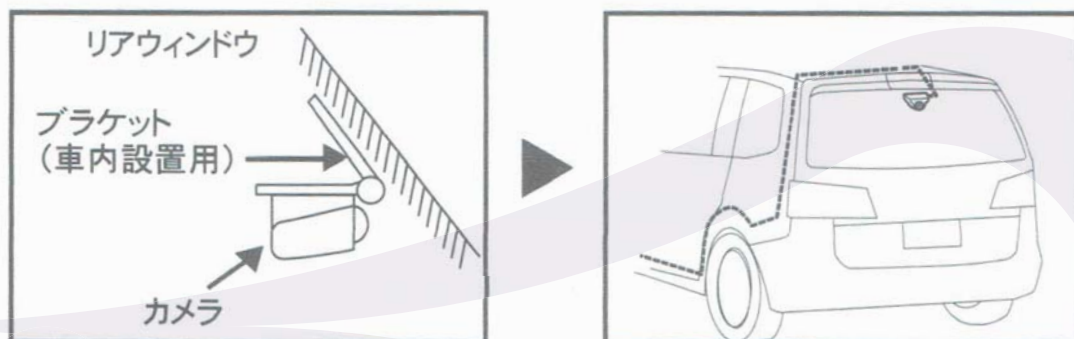
リアカメラ端子(AV)へ接続



リアカメラと接続ケーブルの端子に刻印されている「矢印」を合わせて挿入してください。  
シガーケーブル端子→「USB」と刻印された端子に挿入。  
リアカメラの端子→「AV」と刻印された端子に挿入。

### リアカメラを車体に設置する

#### ●リアウィンドウの内側に設置する場合



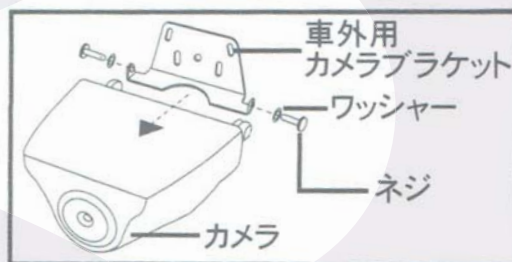
スモークフィルムを貼った車の場合、リアウィンドウの内側に設置すると、リアカメラの映像が明るく表示されない場合があります。

- 1 リアカメラとブラケット(車内設置用)を両面テープで接着します。
- 2 ブラケット(車内設置用)の角度を変えて、撮影するレンズの角度を調整します。
- 3 リアウィンドウの貼り付け面の脂や汚れをよくふき取り、両面テープでしっかりとリアウィンドウに貼り付けます。
- 4 リアカメラのケーブルとカメラケーブルを接続します。  
※カメラケーブルのバック線(赤)をお車のバックライトの電源線(DC12V)に接続すると、ギアをバックに入れた時、画面にバックラインが表示されます。  
【ご注意】24V車のバックカメラの電源線には接続しないでください。

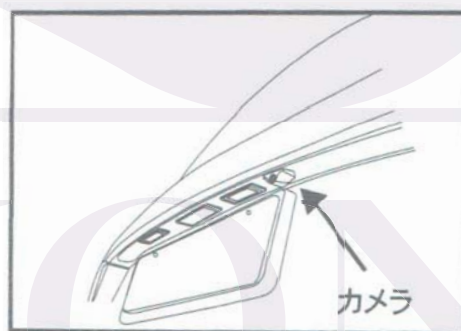
## リアカメラの取り付け (5)

### ●ナンバープレートの上側に設置する場合

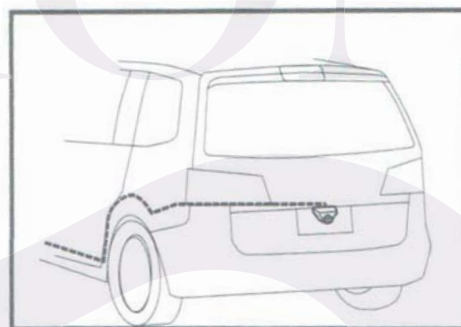
- 1 リアカメラに車外用カメラブラケットをネジで取り付けます。



- 2 貼り付け面の脂や汚れをよくふき取り、両面テープまたはネジでナンバープレートの上側に貼り付けます。



- 3 リアカメラのケーブルを車内に引き込み、リアカメラケーブルを接続します。  
※カメラブラケットを使わず、直接リアカメラを貼り付けることもできます。



### ●リアカメラ設置裏技情報

- 1 リアカメラの設置位置によっては後方車のヘッドライトと平行になった場合、直光が強すぎて眩しくなる事があります。  
設置車種や、後方車種によって状況は様々ですが、裏技としてリアカメラを設置する際に車内車外兼用の取付けステーを使用して車に設置する事で、リアカメラ設置後も微妙に上下調整が可能となります。  
この調整により、通常の固定状態よりカメラの上下向きが調整出来る為、直光を緩和できる可能性があります。



## 機器取り付けに際してのご注意

### ⚠ 注意

■電源設定、ケーブル配線取り回し、リアカメラ取付けなどの作業に関しましては、基本的に専門の業者様にご依頼ください。

電圧関連、ヒューズなどの人体へ危険な箇所もあること、また車体などを傷つけてしまう場合がございます。

※車両整備などの経験がない、もしくは少ない方も含めて、個人で作業を行う場合は、あくまで自己責任にてお願いいたします。

■必ず給電された本体への仮接続を行い、機器に不具合がないことをご確認いただいた上で取り付け工事を行ってください。

機器の不具合によっては、修理・交換が必要となり、配線取り回しや取り外し、カメラ設置の工事費が発生する場合があります。

機器の交換費用、修理費以外の工事費、治療費などの費用につきましては、ご請求いただきましても負担いたしかねますので、ご了承ください。

# リアカメラの配線接続（1）

★マーク：原則、取り付け業者様に作業をご依頼ください。

## 1 リアカメラを固定する

ナンバープレートランプの近くにリアカメラ本体を固定してください。

カメラの角度を調整する必要がある場合は、リアカメラ用ブラケットを使ってカメラを取り付け、ネジで固定してください。



## 2 ★リアハッチの内装パネルを外す

トランクを開けて、付属のヘラを使ってリアハッチの内装パネルを外してください。



## 3 ★配線を引き込む

車体外側のパネルのネジを緩め、付属のヘラでパネルを外し、配線をトランク内に引き込んでください。



## 4 ★電源ケーブルの接続

延長電源ケーブルを隠し、電源ケーブルをリアカメラの延長コードに接続してください。



## 5 ★赤線を後退灯に接続

車のマニュアルでバックランプの電源線の位置を確認してください。（通常は車の後ろ側）  
バックランプの電源線の赤線を、後退灯のプラス線に合流させてください。



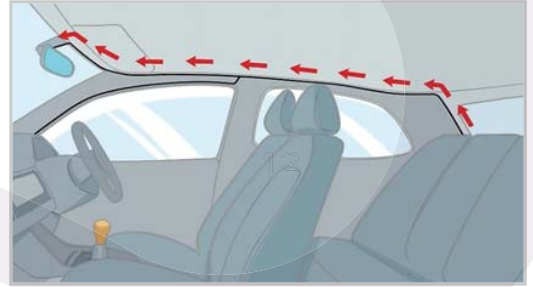


## リアカメラの配線接続 (2)

★マーク：原則、取り付け業者様に作業をご依頼ください。

### 6 ★バックカメラ配線の取り回し

バックカメラの配線を内張り内部に隠しながら、ブッシュ付近まで取り回し、ゴムブッシュを抜いてハッチ側の穴に配線を通してください。  
テープで電源ケーブルと40~50cm程の針金を固定してゴムブッシュを通し、天井の内張りにバックカメラの配線を隠しながら前方に進めてください。



### 7 ★シガーソケットで給電する

付属のシガーソケットを接続して給電してください。  
給電には付属のシガーソケット以外の電源ケーブルを使用しないでください。



### 8 フロントカメラに接続する

配線をフロントカメラに接続し、エンジンをかけて動作確認をしてください。



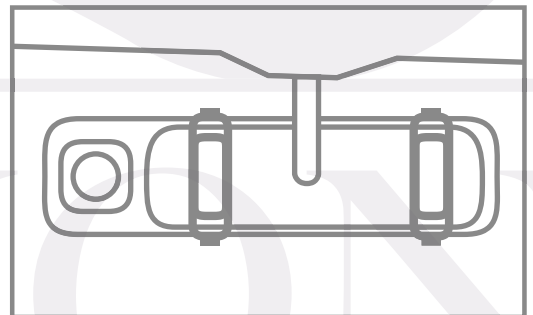
## 本体の取り付け

### ●純正ルームミラーに取り付ける

両側の取付ゴムバンドを本体背面の上側の爪に引っ掛けます。

純正ルームミラーを挟み込んで、片側の取付ゴムバンドを下側の爪に引っ掛けます。

本体の位置を調整しながら、もう一方の取付ゴムバンドを下側の爪に引っ掛けます。



# microSDカードについて (1)

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

## 【SDカードは消耗品です】

※ご使用前に必ず本体でフォーマット作業を行ってからご使用ください。

※特にやむなく弊社付属以外のSDカードをご使用される場合はよくお読みください。

ドライブレコーダーは長時間の動画録画という大変過酷な状況で使用されているため、SDカードには大きな負荷がかかっております。容量、使用頻度にもよりますが、通常タイプであれば**長くても一年、通常は半年ほどでお取り換えを前提**にご使用ください。

また、下記のケアを行わずにご使用を続けると、SDカードの寿命が大幅に短くなり、さらにそのSDカードを使用することで本体にも不具合、破損を生じる事例が発生しております。

合わせましてご注意ください。

**概ね二週間～最長でも一か月に一度は本体、およびPCなどでSDカードのフォーマット作業を行ってください。**

■microSDカードの定期的なフォーマットをお願い致します。

■出来る限り付属のmicroSDカードを使用してください。

指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。

※購入経路によっては、バルク品、並行輸入品、メーカー外商品など本来の性能から著しく劣る製品も多く販売されています。このようなSDカードを使用した場合、本体への影響も出ますのでご留意願います。SDカードは付属品ですが消耗品であるため、1年の保証対象とはなりません。

■microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。

■本体の電源が入った状態で、microSDカードの抜き差しをしないでください。

■microSDカードでのエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。

■microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガーDCアダプターを抜き、電源をオフにして取り外してください。

■microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。

■フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。

■フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。

■思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

■市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。

■本機は、16GB～64GB Class10・UHSのmicroSDカードに対応しています。ただし、同スペックでも全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。

※128GBは不安定なため、動作保証対象外ですのでご使用はお避け下さい。

## microSDカードについて (2)

■UHS-1規格の製品は、Class10互換を謳っていても動作しない場合があります。  
また、UHS-IIIの製品は対応していませんので、市販のmicroSDカードのご購入に際しては互換性にご注意ください。

■microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。  
※SDカードは付属品ですが消耗品であるため、1年の保証対象とはなりません。

■あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等を行っておりません。

### microSDカードの挿入と取り出し

- 1 microSDカードを挿入／取り出しする前に、必ず本機の電源がオフになっていることを確認してから行ってください。  
※本機動作中、microSDカードの挿入・取り外しをすると、データの破損、本機の故障の原因になる恐れがあります。
- 2 microSDカードを向きに注意してスロットに差し込んでください。



- 3 取り出すときは、一度カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜きます。  
※取り出す前に、必ず本体の電源をオフにしてください。  
※飛び出した際の紛失にご注意ください。  
※事故発生時に記録された映像データが壊れないよう、必ず本体の電源をオフしてからカードを抜いて保管してください。


### microSDカードのフォーマット

microSDカードをフォーマットするには下記の手順が必要です。

フォーマット作業をする前に、重要なデータのバックアップを保存してください。

- 1 同梱されているmicroSDカードが挿入されていることを確認してください。
- 2 車のエンジンをオン(ACC ON)もしくは、本機の電源ボタンを操作して本体を起動します。  
※電源オンについては「電源オン／オフについて」を参照してください。

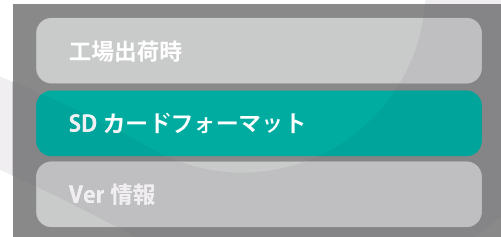
## microSDカードについて (3)

- 3 設定メニューを表示します。  
※「」録画アイコンをタッチして録画を停止し、「」設定アイコンをタッチすると設定メニュー画面が表示されます。

アイコン表示画面



設定メニュー



- 4 フォーマットを実行します。  
設定画面から『SDカードフォーマット』項目をタッチしてSDカードフォーマット画面に入ります。  
「はい」を選択すると、SDカードをフォーマットします。

フォーマット

カードをフォーマットしますか？  
全てのデータが削除されます。

はい

いいえ

- 5 フォーマットが完了すると右の画面が表示されます。

フォーマット

  
フォーマット完了

はい

いいえ

**初めて本機を使用する場合、ご使用前にmicroSDカードのフォーマットを行ってください。機器の指示が出ない場合もフォーマット作業をお勧めします。**

■フォーマットの操作は、必ず本機が車両に固定され、車両が停止している状態で行ってください。(走行中の作業は危険ですので絶対に行わないでください。)

■フォーマット中は本機の電源を切らないよう、ご注意ください。



## 2つの機能モード

本機は以下2パターンの機能を搭載しております。

### ■スマートルームミラーモード(前後撮影モード)

メイン設定です。電子ルームミラーとして使用します。

車体後部を撮影したカメラ映像を表示しながら、前後のカメラで同時録画を行います。



※画面はイメージです。

### ■アナログルームミラーモード(液晶オフ)

通常のルームミラーとしても使用できますが、あくまで緊急用としてご使用ください。

画面左端のアイコンを3秒ほど長押しする事で一時的にアナログミラーモードに移行します。

本体下部のボタンを長押しすることで、電源をオフにして通常のミラーとして使用できます。




※画面はイメージです。

※弊社では故障などの緊急時の場合を除いて、このモードでの長期的な使用を勧めておりません。カガミとしての機能は通常のルームミラーのほうが見えるためです。あくまで緊急用としてご使用をお勧めいたします。

# スマートルームミラーモード

(通常使用推奨設定)

本体の電源がオンになると、自動的にスマートルームミラーモードに移ります。

「」でフロント画面→リア画面→フロント／リア分割画面の順に表示が切り替わります。

スクリーンを上下にフリックして、表示画面の見える範囲を微調整する事ができます。

※フロント画面を表示したままで走行しないでください。

※フロント、リア画面ともに範囲調整が出来ますが、これは録画されている画像の一部が液晶に映っているため、**実際には稼働したすべての範囲が撮影されています。**

**(液晶画面範囲のみが撮影されているわけではありません。)**



※画面はイメージです。

1	録画中表示	左上に「●」赤色が点滅します。
2	日時表示	設定メニューで「オン」「オフ」の設定が切り替えられます。
3	カメラ表示	スクリーンを上下にフリックすると、表示画面の見える範囲を微調整できます。液晶画面には走行時に視認しやすい画像が映りますが実際にはフリックして映る範囲はすべて録画されています。

■リアカメラが接続されていない場合、スマートルームミラーモードを機能しないため、右のような画面を表示します。

画面表示から3秒後に、自動的にフロント画面に切り替わります。

※フロント画面を表示したままの走行は危険ですのでおやめください。

(弊社設定にて強制的に30秒でリア画像に変更されます)

注意！

リアカメラが接続  
されていません

オフ

# 常時録画記録（1）

本機の電源がオンになっている間の映像を録画することができます。（常時録画）  
さらに、運転中や駐車中に車両に大きな衝撃が加わった前後または衝撃後の映像を記録することができます。（イベント（衝撃）記録／駐車録画モード）

## 録画画質設定画面

本機はフロントカメラで動画を録画するときの画質（録画解像度）を設定することができます。

フロントカメラ ■最高画質：1080P（1920×1080） ■高画質：720P（1280×720）

リアカメラ ■最高画質：1080P（1920×1080）

※お買い上げ時、フロントカメラは「高画質」に設定されています。

※リアカメラは「最高画質」のみです。

※フロントカメラとリアカメラの静止画は [1536×864] で保存します。



## 録画記録時間

本機で使用する microSD カードの容量により、記録時間が異なります。  
録画環境によって録画容量は前後いたします。

録画解像度	microSDカード容量		
	16GB	32GB	64GB
1080P	約90分間	約190分間	約360分間
720P	約100分間	約210分間	約380分間

■本機は 16GB 以上、64GB 以下の microSD カードに対応しています。

※128GBは認証しますが、カードの破損リスクが大きいことから弊社では推奨しておりません。

※8GB は認証致しますが消耗が激しい為、緊急時以外のご使用は推奨しておりません。

■Class 10 microSD カードを使用してください。

■上記記録時間はあくまでも目安です。保証するものではありません。

■被写体や周囲環境により、録画可能時間が変わることがあります。

※録画領域は常時録画領域とイベント録画領域に分かれています。イベント録画領域は静止画を含みます。



## 常時録画記録 (2)

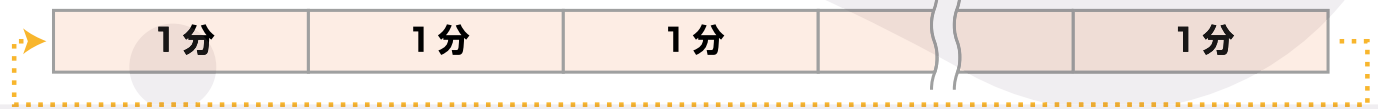
### ■ 常時録画モード

電源オンにすると、常時録画が始まります。録画中は液晶左上の表示アイコンが赤色点滅します。設定により、1分間 / 2分間 / 3分間の単位で録画します。

お買い上げ時の常時録画時間は「1分」に設定されています。

常時録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に消去し、新しい録画を記録します。(自動上書き設定)

例：常時録画を「1分」に設定時



常時録画時の画面



※画面はイメージです。


1	録画中表示	左上に「●」赤色が点滅します。
2	カメラ表示	スクリーンを上下にフリックすると、表示画面の見える範囲を微調整できます。液晶画面には走行時に視認しやすい画像が映りますが実際にはフリックして映る範囲はすべて録画されています。

■ 録画ファイルの保存場所：microSD カード内の「CARDV」フォルダに保存されます。

■ 常時録画ファイル：FILExxxxF.TS(フロントカメラ映像)・FILExxxxR.TS(リアカメラ映像)

## 常時録画記録 (3)

### ■ イベント(衝撃)録画モード

常時録画中に「」をタッチするか、Gセンサーが衝撃を検知すると、常時録画がイベント記録モードに切り替わります。(録画中表示アイコンは黄色になります)

イベント録画が終了すると、常時録画に戻ります。イベント記録はイベント(衝撃検知または手動)発生タイミングにより、保護対象ファイルが変わります。

例：常時録画を「1分」に設定時



★は、イベント録画の開始ポイント

★1. 動画②の最初から 10 秒以内にイベントが発生し、イベント録画が開始されると、動画①と動画②はロックされます。

★2. 動画②の最初・最後の 10 秒以外にイベントが発生し、イベント録画が開始されると、動画②がロックされます。

★3. 動画②の最後 10 秒以内にイベントが発生し、イベント録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

※イベント録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に上書きします。

イベント録画領域は必要に応じてまめに microSD カードのデータをパソコンに保存してください。

■録画ファイルの保存場所：microSD カード内の「CARDV」フォルダに保存されます。

■イベント録画ファイル：EMERxxxxF.TS(フロントカメラ映像)・EMERxxxxR.TS(リアカメラ映像)

## 静止画記録

「」ボタンをタッチすると、フロントカメラとリアカメラの静止画が同時に記録されます。

フロントカメラとリアカメラの静止画は「1536×864」画質で保存します。

※録画中に静止画を記録しても録画は中断されません。

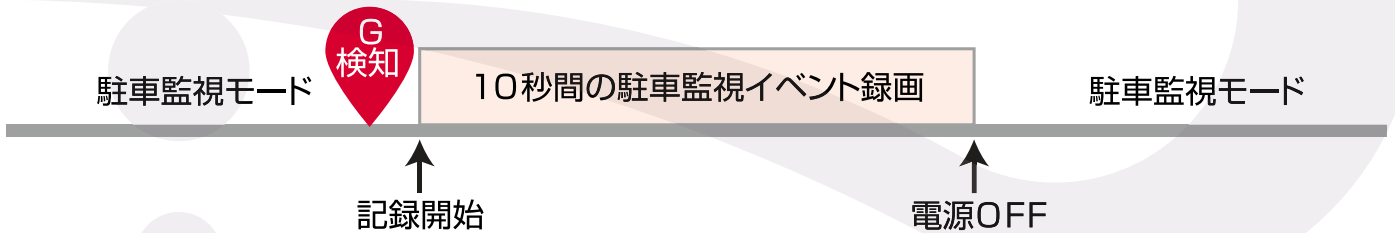
■静止画ファイルの保存場所：microSD カード内の「photo」フォルダに保存されます。

■静止画ファイル：DxxxxA.JPG (フロントカメラ画像)・DxxxxB.JPG (リアカメラ画像)

## 電源オフ時の駐車監視モード

「駐車監視」設定が「高」／「中」／「低」のいずれかの場合に機能します。

車両のエンジンをオフにすると、駐車監視モード (G 検知スタンバイ状態) になり、他車の衝突などの衝撃を検知すると、自動的に 10 秒間の駐車監視イベント録画を行い、録画終了後に再び駐車監視モードに移行します。



駐車監視イベント録画映像はイベント録画ファイルとして保存します。

G 検知して 10 秒間録画し、駐車監視イベント録画中の 10 秒間に再び G 検知すると、録画時間を延長します。

- 駐車録画は衝撃を検知してから数秒後に録画が始まります。
- ドアを閉めたときの振動を検知して、駐車録画モードが動作することがあります。
- お買い上げ時の駐車監視設定は「オフ」に設定されています。  
(通常走行時はオフに設定してください。)
- イベント録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に上書きします。  
必要に応じて、microSD カードのデータをパソコンに保存してください。

※車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には駐車録画は動作しないことがあります。  
(バッテリー保証は機器保障と別途となります。)

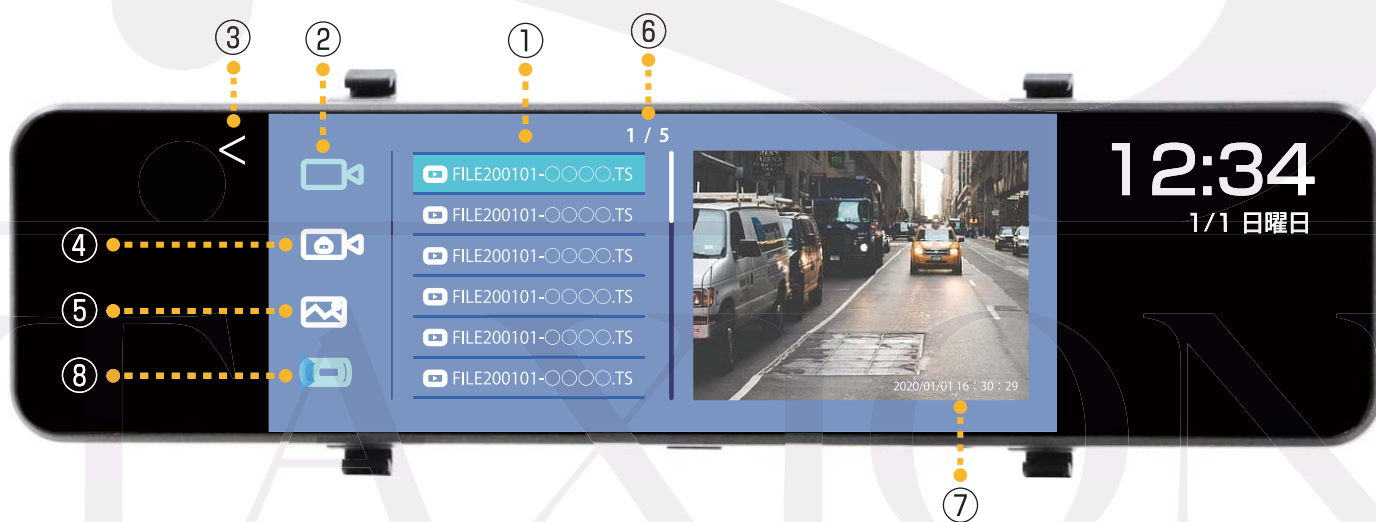
## 本体での再生について

録画停止状態で「▶」ボタンをタッチすると、再生モードに移ります。

- 1 再生する種別アイコンをタッチすると、種別ごとのファイルリストを表示します。
- 2 映像再生画面が表示され、サムネイルまたは「▶」をタッチすると、再生を開始します。

動作モード

本体での再生について



- ① 再生リスト一覧を表示します。
- ② タッチすると、常時録画ファイルリストを表示します。
- ③ タッチすると、常時録画モードに戻ります。
- ④ タッチすると、イベント録画ファイルリストを表示します。
- ⑤ タッチすると、静止画ファイルリストを表示します。
- ⑥ 常時録画／イベント録画／静止画のそれぞれの記録ファイル数を表示します。
- ⑦ 録画または静止画を記録した日時を表示します。
- ⑧ ②常時録画／④イベント録画／⑤静止画のそれぞれのフロント／リアカメラでの映像を切り替えます。

TAXION



# PC用GPS再生ソフトについて (1)

専用アプリケーションを使用すると、録画した映像を PC上で表示再生することができます。

## ■PC動作環境

常時録画ファイル名を長押しすると、「ロック」と「削除」を表示します。  
ロックとは常時録画ファイルをイベント録画ファイルとして保存します。

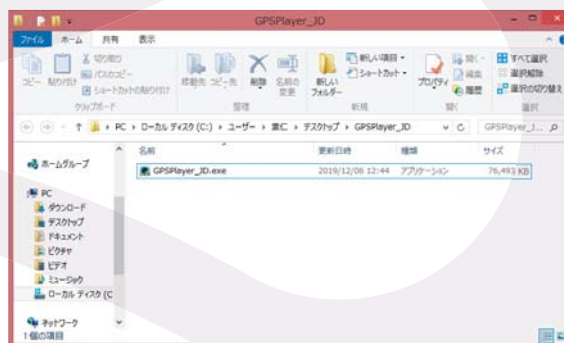
OS	Windows 7 以降
CPU	Intel Core i5 以降
メモリ	8GB以上
その他	インターネット接続環境が必要です。

- すべての OS・パソコンについて動作を保証するものではありません。
- お使いになるパソコンの処理能力や環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

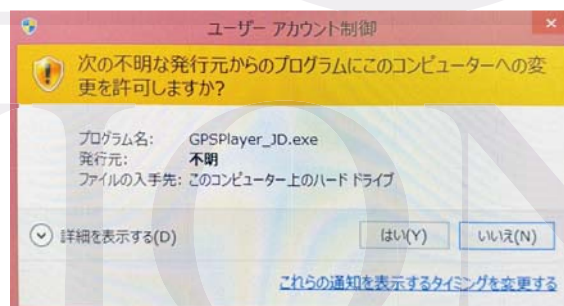
## ■ソフトのインストール

PC ビューワのインストールファイル『GPS Player\_JD.exe』は弊社特設 HP  
**[b-effect.jp.com]**より製品紹介ページなどからダウンロードが可能です。

- 1 PCにソフトをダウンロードできましたら「GPS Player\_JD.exe」をダブルクリックします。



- 2 「はい」をクリックします。



## PC用GPS再生ソフトについて (2)

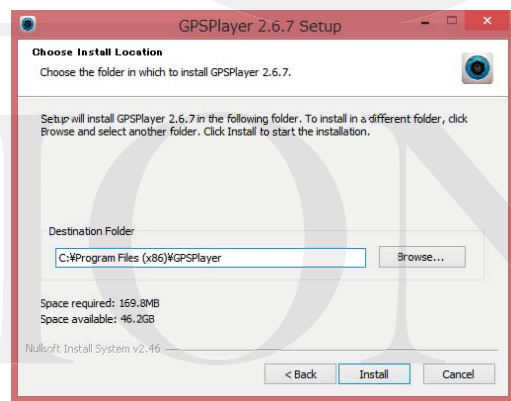
3 「Next」をクリックします。



4 インストール先を変更する場合は「Browse」をクリックして保存先を選択します。

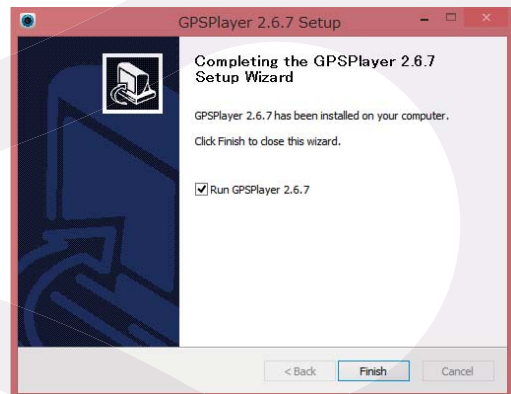
「Install」をクリックするとインストールが始まります。

※ユーザーアカウント制御画面が表示される場合は、確認した上でインストールを行ってください。





5 「Finish」をクリックしてインストールを終了します。

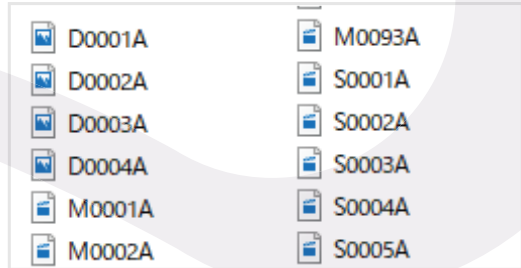
※デスクトップ上に「GPS Player」のショートカットアイコンが作成されます。




# PC用GPS再生ソフトについて (3)

## ■ビューワーソフトで映像ファイルを再生する

- 1 デスクトップ上のDVR Player「」をダブルクリックしてビューワーソフトを起動します。
- 2 DVR Player内の「」をクリックし、microSDカード内の映像ファイルをファイルリストに追加します。  
※映像ファイルはmicroSDカード内の「CARDV」フォルダに保存されています。



- 3 ファイルリストから再生したい映像ファイルを選択し、ダブルクリックすると再生を開始します。  
※ファイルの再生中は「」をクリックすることはできません。

## ■画面の操作

② ⑬ ⑧-[1] ⑧-[2] ⑧ ⑧-[4]

⑥ ⑨ ③ ⑦ ⑤ ① ⑩ ⑪ ⑫ ④ ⑧-[5] ⑧-[6]







その他

PC用GPS再生ソフトウェアについて (3)



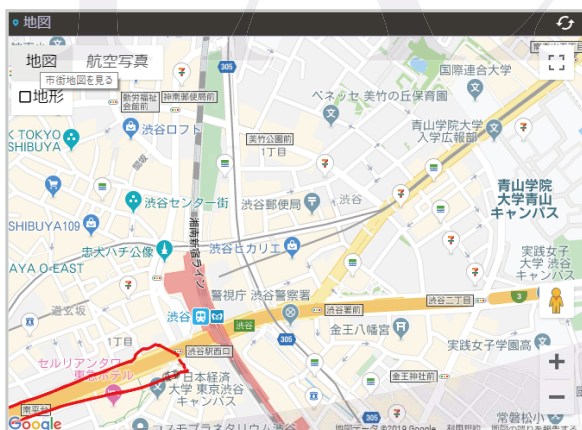
# PC用GPS再生ソフトについて (4)

- ① 映像ファイルが撮影された日付と時刻を表示します。
- ② 再生画面をダブルクリックすると、全画面で再生します。
- ③ 動画の再生位置を表示します。再生位置に応じて、地図の位置情報を更新します。
- ④ 再生中のファイル名
- ⑤ 映像ファイルに記録された G センサー情報を表示します。
- ⑥ 再生経過時間／トータル時間
- ⑦ 再生操作ボタン

	停止ボタン		再生／一時停止ボタン
	前へボタン		早送りボタン
	早戻しボタン		次へボタン

## ⑧ 地図表示画面

映像ファイルに記録された車両の位置情報を地図画面に表示します。



- ⑧-[1] 通常の地図画面を表示します。  
地形の有無を選択できます。  
※工場出荷設定：有
- ⑧-[2] 航空写真を表示します。  
ラベルでアイコンの有無を選択できます。  
※工場出荷設定：有
- ⑧-[3] 選択中のファイルの自転車位置を表示します。
- ⑧-[4] 「+」「-」で地図表示のスケールを拡大します。
- ⑧-[5] 地図画面をダブルクリックすると  
地図表示のスケールも拡大します。
- ⑧-[6] 右上のアイコンで更新します。

## ⑨ 再生している映像ファイルの車両速度情報を表示します。

※録画中にトンネル等の GPS 受信環境が悪い場所を走行していた場合、車両速度情報が表示されることがあります。

※表示されている車両速度はあくまで目安です。実際の車両速度とは異なる場合があります。

- ⑩ 動画がループ再生します。
- ⑪ 再生速度を変更します。
- ⑫ ボリューム
- ⑬ 前後画面の切り替え

# トラブルシューティング (1)

症状	原因	対処方法
電源が入らない	シガーアダプターの接続不良の可能性があります。	シガーアダプターを一度外してから再度接続し直してください。 また、シガーライターに確実に差し込まれているかを確認してください。
	本機が使用できる温度環境ではない場合があります。	本機は「-10℃ ~ +60℃」温度環境下で使用できます。
電源のオンオフを繰り返す	電圧が弱い為、安定的な動作が出来ない。 付属以外のシガー DC アダプターの使用分配器の使用。 ヒューズなどからの電圧配線での電圧不足。	付属のシガー DC アダプターをシガーソケットに直接装着し本体に挿して動作を確認する。
誤作動をする	本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。	本機のリセットボタンをして押してください。
SDカードを読み込まない	他で使用したフォーマットをされていないSDカードを差している。 SDカード自体が破損している。 推奨していないSDカードを使用している。	手で本機、またはPCなどでSDカードのフォーマット作業を行ってください。 また、他の正常に動くSDカードなどをフォーマット後、差し込んでみて動作等をご確認ください。
録画したはずのファイルがない	常時録画ファイルは microSD カードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。	ファイルを残しておきたい場合は、定期的にバックアップすることをおすすめします。
録画ができない	microSDカードが本体に挿入されていますか？	SDカードが本体に挿入されていること確認してください。
	microSDカードの読み込みエラーが発生していませんか？	microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、別のカードでお試ください。 または、電源を切った状態でカードの抜き差しを行ってください。
操作音や音声ガイダンスが鳴動しない	本体音量がオフになっていませんか？	設定メニューの「音量」から設定を変更してください。
GPSが受信できない	GPSユニットは接続されていますか？	正しく接続されている場合は機体の（断線、故障を含む）原因の可能性がります。
	GPS電波が受信しづらい場所を走行してませんか？	トンネル内やビルの谷間などはGPS電波を受信しづらい場合があります。
	本機を起動して受信まで数分かかる事があります。	起動直後はGPS電波を受信しづらい場合があります、しばらく経ってから再度確認してください。

## トラブルシューティング (2)

症状	原因	対処方法
再起動する場合がある	アイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションなどによってアイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。	アイドリングストップの設定、車両の電圧を確認してください。
信号機表示が消えてしまう	※これはドライブレコーダーに限らず、デジタル録画ではほぼすべての機器に起こる現象です。 (スマートフォン、デジカメ、アクションカメラ系すべての録画を含みます) 信号は同じに見えてもデジタルのものとアナログのままのものがあり、アナログ系は消えにくいとされています。	映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また逆光などの環境によっては信機表示が確認できない場合があります。その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号機表示が確認できないことによる事故やトラブルに関しまして弊社は一切その責任を負いかねます。
緊急録画が頻繁に行われる	Gセンサー感度の設定が適切ではない可能性があります。	設定メニューの「Gセンサー」から感度設定を変更してみてください。
日時表示がずれている	GPS 時間校正がオフになっていませんか？	設定メニューの「日付/時間」→「GPS 時間校正」から設定を変更してください。
本体画面が点いたり消えたりする動作が不安定な感じがする	① 最も考えられる原因は電圧不足です。本機は、2.5Aという高めの電圧が必要となり、アクセサリ電源の電圧不足、シガー DC アダプターの2連、3連分配などを使用すると電圧不足になることがあります。	通常のシガーDCアダプターをシガーソケットから使用していない場合は、まず通常の使用方法に戻してみてください。 それでも症状が改善しない場合は、②の原因を検証してみてください。
	② 不具合のあるSDカードを使用している場合も同様の症状が起こることがあります。	SDカードが古い場合は、新しいものに交換してみてください。 古くない場合は、本体のフォーマットで改善する場合がございます。
	③ 上記で改善しない場合は、シガーDCアダプター、もしくは本体の不具合が考えられます。	購入店舗取扱店、もしくは以下のTAXION サポートデスクまでお問い合わせください。 support@b-effect.jp.com ※お問い合わせの際は、必ず注文番号を合わせてご連絡ください。
天候の悪いときなど後方が見えないときがある	レンズに雨や雪、汚れが付着して後方が見えにくくなっている。	レンズを拭き取るなどして付着物を除去してください。 リアカメラレンズには、撥水加工がされていますが、完全に撥水が出来るわけではないため、ひどい付着は拭き取り作業が必要になります。
後方の車のライトがとても眩しいときがある	本機は暗視に特化した高性能リアカメラを採用しているため、カメラの装着位置と、後続車のヘッドライトの高さが重なった場合は、強烈な眩しさを感じる場合があります。	以下を参考に、リアカメラの装着位置を調整すると、眩しさを軽減することが可能です。 ①車体に向かってナンバーの左側に、やや斜めに装着する ②アダプター経由で装着し、レンズが道路と平行にならないよう、少し下向きで装着する

## トラブルシューティング (3)

症状	原因	対処方法
緊急録画が頻繁に行われる	Gセンサーの感度設定が高すぎる可能性があります。	設定メニューの「Gセンサー感度設定」から、感度を通常、もしくは低めに設定してご使用ください。
駐車監視モードが働かないときがある	駐車監視モードは一定以上の衝撃を感知した際に「内蔵バッテリー」で稼働する仕様です。 内蔵バッテリーが弱っていたり、衝撃が弱い場合は、作動しない、もしくは作動してもすぐに電源が落ちてしまう場合があります。	駐車監視モードは、あくまで補助的な機能とお考え下さい。 ※本機は販売時に「駐車監視モード」を強く推奨しておりません。
GPSソフトはどこにありますか？	弊社特設ページよりダウンロードしてください。 <a href="https://b-effect.jp.com/taxion/txm-12r/">https://b-effect.jp.com/taxion/txm-12r/</a>	ご使用方法については、P28【PC用GPS再生ソフトについて】をご覧ください。
リアカメラの映像が乱れる	カメラ本体以外の配線に不具合の可能性あります。	配線のリアハッチとの挟み込み、配線引き込み時の断線、圧迫などの原因も考えられますので、配線の引き込みに無理がなかったか、ご確認ください。
撮影された動画がスマートフォンで再生できない	撮影した動画はPCのみで再生が可能になっております。	PCでの再生をお願いします。
SDカードが消耗品とはどういう意味でしょうか？	SDカードの録画回数には寿命があるため、消耗品となります。 フォーマットを定期的に行わず、数カ月使用を続けていると、SDカードだけではなく、本体の故障にもつながりますので、定期的なフォーマットをお願いいたします。	本機は、不具合のあるSDカードを検知し、告知する機能が実装されていますが、不具合を予防するための定期的なフォーマット作業を推奨しています。 また、念のため、車内に予備のSDカードを持たれると、より安心してご利用いただけるかと思われます。
起動時などの音声が鳴らない事がある	工場出荷時、また長期間、給電、充電がされていない場合に本体の蓄電が低い場合、本体起動などの最優先動作を優先する為。	ある程度の時間、そのままご使用いただけましたら本体バッテリーに蓄電されてまいりますので、通常稼働するようになります。
携帯電話から問合せをしたが返信が無いのですが	ほとんどが docomo. au. SB などのキャリアメールからで、PCメールの受信拒否をしている事例が非常に多い為	PCメールで再度送信いただくか、キャリアメールのPC受信設定をオンにしてください。
修理の際手元にドライブレコーダーがないと不安なので代替え機、もしくは先に交換品が欲しい	弊社では故障による保証対象に関して、購入者様のご申告のみで交換品の先出はおこなっておりません。 また代替え機などのご用意もございません。 通常一般の製品と同じようにお預かりをして弊社検証の結果に対して適切な対応をさせて戴きます。	

# 仕様

## ■本体仕様

品番	TXM-12R
サイズ	293(L)x72(W)x17.5(H)mm
重量	400g
液晶モニター	12インチ IPS タッチパネル 1480×320
解像度	1980x1080P
メニュー言語	日本語、英語
記録媒体	Class10、16GB～64GBのmicroSDカード
AUTO-WDR	対応
GPS機能	対応
ファイル形式	静止画：JPG 動画：TS
フロントカメラセンサー	CMOS SONY IMX307
ピクセル(画素数)	2MP(200万画素)
F値	F1.8
FPS	30fps/27.5fps HDR
動作温度範囲	-20℃～+70℃
バッテリー	リチウムポリマー

## ■バックカメラ仕様

センサー	CMOS SONY IMX307
ピクセル(画素数)	2MP(1080P)
F値	F1.8
FPS	30fps HDR
レンズ	2G+2P+IR
防水レベル	IP67

## ■高画質のリアカメラ

WDR搭載、極端な明暗差が同時に存在の場面、逆光になる場面、夜間の撮影時に生じる黒つぶれや白とびなどを抑え、より鮮明でシャープな映像を提供します。

## ■防水防滴構造のリアカメラ





IP68の防水防滴構造で、雨の日でも安心して、後方の状況をしっかり確認できます。

## ■明るさ調整可能

画面の明るさも手動設定対応で、実際の状況によって、スワイプ(左右)で調整できます。

# 安全上のご注意（1）


安全のために必ずお守りいただきたい項目を説明しております。  
交通事故防止を主とした安全確保のため、必ずお守りください。

-  **警告**：人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
-  **注意**：人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
-  **禁止**：絶対にしてはいけない事項
-  **強制**：必ずお守りいただきたい事項


## 警告

 **必ず規定容量のヒューズをご使用願います。交換は専門技術者に依頼してください。**


定容量を超えるヒューズを使用すると火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、専門の整備業者様などにご依頼ください。(ヒューズ2.5A)

 **取り付けには車両の保安部品のボルトやナットの使用は避け下さい。**


ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

 **取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することをお確かめください。**


車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカー)などが正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

 **運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。**

運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

 **運転者は走行中に操作をしない、また必要以上に画像・表示を注視しないでください。**


走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

 **コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回しをお願いします。**

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

 **ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。**

誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

 **使用しないコードの先端などは、絶縁処理をしてください。**

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

## 安全上のご注意 (2)

### 車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付けてください。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。  
火災や感電、事故の原因になります。

### 故障や異常のままのご使用をしないでください。

煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になることがあります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店舗にご相談ください。

### 指示に従って正しく配線・取り付けを行う

取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

### DC12/24V マイナスアース車で使用する

DC12/24V マイナスアースの車専用です。故障の原因になりますので、上記以外のお車には使用出来ません。

### 分解や改造はしない ※行われた時点で保証対象外製品となります。

電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理は MURAKUMO カスタマーセンター、購入時の店舗で依頼ください。

### 機器内部に水や異物が入らないようにご注意ください。

金属や燃えやすいものが入ると、動作不良になり、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

### 配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子を外して作業願います。

バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線・取り付けを行うと、ショートや事故による感電やけがの原因になります。

### 車載用以外には使用出来ません。

車載用以外(レジャーポートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

### 配線・取り付け／取り外しは、専門技術者にご依頼ください。

取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

### コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけないように願います。

ショートや断線により、発火や故障の原因になります。

### 本機の通風孔を塞がない配置にしてください。

本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

### 強い衝撃を与えないでください。

落下等の衝撃で、故障や火災の原因になることがあります。

## 安全上のご注意 (3)

### 高温になる場所などに 取り付けないでください。

直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

通常の装着時の日光などには耐熱処理がされていますが精密機器の為、出来るだけ日陰に置く、遮光をするなど直射日光が当たらない処置を推奨いたします。

### 必ず付属品や指定の部品を使用ください。

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しつかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。(特に付属以外のシガー DC ソケットや分配器を使用致しますと電圧が合わず不具合が発生する事がございます。)

### 振動の多いところや不安定な場所に 取り付けないでください。

強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

### 水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い 場所に取り付けないでください。

雨や洗車による被水、湿気やほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電による怪我、機器の故障の原因になります。

### 感電の原因になるので、接触禁止

雷が鳴り出したら、シガーアダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。



# 使用上のご注意

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、必ずしも効力を保障するものではありません。
- 本機取り付けによる、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

## ⚠ 注意

### ⚠ 取付中はエンジンを切って操作願います。

本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーが ON の状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

### ⚠ 画質が落ちることがあります。

トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、一時的に録画品質が落ちることがあります。

### ⚠ 信号機の色を認識できないことがあります。

LED 方式の信号機では画面が点滅、またチラつく事があります。また色の認識がわかりにくい場合がございます。

### ⚠ 磁気性があるものに近づけない。

本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

### ⚠ フロントガラスと本機レンズの表面を汚さない。

車のフロントガラスと本機レンズの表面を出来るだけきれいに拭いてご使用ください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

### ⚠ 保存容量超えに注意する。

緊急録画で記録された動画については上書き保存されません。ファイルが増えると MicroSD カードの保存容量を超え、録画ができなくなることがあります。必要に応じてファイルを削除してください。

### ⚠ 付属のシガー DC アダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。

シガーソケットを分配させて接続しないでください。電圧不足を引き起こし、動作不良、誤作動、故障、また火災などの原因になることがあります。

### ⚠ シガー DC アダプターを接続した状態でエンジンをかけると故障の原因になります。

取り付けした状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲 (12/24V) を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本機故障の原因になることがあります。

### ⚠ ヒューズなどから配線を取る場合は専門家の指示のもと作業してください。

市販のソケットアダプターなどを使用してヒューズ等から配線を行う場合は、必ずディーラー、カーショップなど専門家による指示の上で作業をお進めください。

### ⚠ 規定外作業による破損・故障への保証・賠償は行っておりません。

規定外の作業で起こった破損、故障などに対しての保証、作業賃の負担、賠償などの責任は一切お受けできないものと致します。

# 保証とアフターサービス

●本取扱説明書に従って、正常な使用状態において保証期間中に故障が発生した場合、お買い上げ日より1年間以内に限り無償で修理致します。

尚、本製品の不具合に起因する 損害および故障については保証対象外とさせていただきます。

●保証期間内であっても、以下の項目に該当する場合には有償修理での対応とさせていただきます。

①ネットショップからの購入で注文番号が不明な場合。

②弊社正規代理店以外で購入をされた機種。

③本書の提示およびお買い上げ日・販売店印のないもの、または偽造コピーされた保証書。

④使用上の誤りまたは許可を得ていない不当な改造や修理による故障や損傷。

⑤販売後の輸送および落下による故障。

⑥地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他天災地変、異常電圧による故障または損傷。

⑦接続しているその他の機器に起因する故障および損傷。

⑧国外で使用された場合。本保証書は国内においてのみ有効です。

⑨指定以外の使い方、特殊な使用による故障および損傷。

⑩タクシー、運搬業など運送業務でのご使用による故障および損傷。

(本製品は一般家庭でのご使用を前提としております。)

●修理を依頼されるとき

正常使用、付属の簡易取扱説明書をご確認いただき、かならず充電コードを抜いて、お買い上げ販売店又は弊社にご連絡下さい。

●保証期間を過ぎているとき

修理をすれば使用できる場合には、ご希望により有償で修理させていただきます。

修理料金の仕組みは、技術料・部品代となっています。

※出張修理は一切行っておりません。

●修理後の保証

修理に対する保証期間は商品お引き渡し後2か月です。

但し、無償保証期間が2か月以上残存する場合は、注文番号による購入履歴、販売店印・お買い上げ日の記載のある保証書の保証規約のもとメーカー保証期間を優先致します。

※技術料：故障した商品を正常に修復するための料金です。

部品代：修理に使用した部品代です。

# 保証書

本製品は当社において厳重なる品質管理のもとに検査され、合格したものであります。  
お客様の正常なご使用状態で、万一お買上げ1年間以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には無償修理いたします。

機種名	TXM-12R
保証期間	お買上げ日 年 月 日 より1年間 ※注
お客様	お名前：
	ご住所：
	お電話番号：
販売店名	TOLERANCE.CO.LTD 正規代理店

## 無料保証規定

- 取扱説明書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  - 店舗での購入で保証修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店購入伝票と商品、本書をご用意ください。
  - インターネットでの購入で保証修理の場合は、お買上げ時の注文番号をご用意してご連絡ください。
- SDカードが付属した場合は消耗品である為、初期不良(使用1か月)以降は一年保証の対象から外れます。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有償での対応とさせていただきます。
  - 不当な修理や改造による故障及び損傷。(本体カバーを開けただけでも、不当な改造とみなします。)
  - お買上げの後の故意の落下などによる故障及び破損。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。  
(販売店印の無い場合はレシート、購入伝票などを添付ください。)
  - インターネット店舗経由で購入した際の注文番号、購入番号の御提示がなされない時。  
(正規代理店でのネットショップからの購入品に関しては注文番号による購入履歴にて保証対象期間の管理を行っていますので、店舗名等無記名でも問題ありません。)
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 当店ではお客様から故障状況の自己申告のみでの商品先出交換を行っておりません。基本的にはすべてお手元の商品をお預かりにて、修理、もしくは交換などの対応が前提となります。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。  
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店または発売元の TAXION サポートセンター宛にお問い合わせください。



取扱説明書の  
ネット掲載ページ

[冊子が見難い方はこちら](#)



登録するとお得な情報  
があります。

[TAXION 公式 LINE](#)



〒103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目28番4号 日本橋CETビル Office2F  
TEL : 03-6804-0018 MAIL : support@b-effect.jpn.com

※お客様との対応履歴の確認のため、返信はメール主体での対応とさせていただきます。  
メールには注文番号および購入店舗とおおよその購入日を合わせてお知らせください。